

プレスリリース

2017年4月29日（土・祝）～6月4日（日）東京都目黒区 自由が丘 six factory にて開催
柳本浩市展

“アーキヴィストー 柳本さんが残してくれたもの”
「YANAGIMOTO KOICHI, ARCHIVIST」



世界各国の牛乳パック。無印良品 池袋西武 企画展「STOCK展」より 柳本浩市 自宅 Photo : Gottingham



STOCK展に展示された洗剤ボトル。無印良品 池袋西武 企画展「STOCK展」より Photo : Gottingham

2016年3月に46歳で急逝された、デザインディレクター、柳本浩市氏を追悼する展覧会「柳本浩市展」“アーキヴィストー 柳本さんが残してくれたもの”を、2017年4月29日（土・祝）～6月4日（日）まで、東京都自由が丘の six factory にて開催いたします。

柳本浩市氏は、2002年に出版やプロデュースを行う自身のレーベル Glyph. (グリフ) を立ち上げ、Glyph. 名義での出版や、企業との商品開発、展覧会のプロデュースなどで多くの実績を残しました。同時に多様なジャンルの収集家として知られ、その収集物が展覧会や各種媒体で紹介されるなど、価値の高さが広く認められていました。膨大な知識の持ち主でもあり、収集物と知識を生かしたいというその活躍が期待されていました。

本展では、柳本氏をアーキヴィスト（ものを収集し、整理し、その価値を見きわめてアーカイブをつくり、未来へ発展させていく人）として捉え、彼の遺品を通してその思想と活動を伝えていきます。

会場では、柳本浩市氏が自ら作成し、自宅に保管していた資料ファイルを公開。来場者は実際に手に取って貴重な内容を見ることができます。そこには多様な領域の記事や文献とともに、伝説的エアライン「プラニフ」や過去のオリンピック関連の印刷物なども含まれています。また、世界各国のスーパーマーケットや郵便局などで入手した食品パッケージ、洗剤などの容器、配送用ボックスなども展示し、様々なアイテムを図書館のように分類と関連性をもって展示します。

また本展に合わせて冊子「YANAGIMOTO KOICHI - ARCHIVIST' S VISION」（2000部限定）を製作し、「ファイリング」「トラベル」「ポストモダン」などのいくつかのキーワードを手がかりにアーキヴィストとしての柳本浩市氏の功績を紹介します。故人を追悼するとともに、その活動の意図がいかに未来に向けられていたかを考察していきます。

なお、本展の制作費用は、協賛企業からのご協力に加え、クラウドファンディングを活用する予定です。

開催概要
展覧会名： 柳本浩市展
サブタイトル：「アーキヴィストー 柳本さんが残してくれたもの」
英語タイトル：「YANAGIMOTO KOICHI, ARCHIVIST」
会期： 2017年4月29日(土)～6月4日(日) 会期中無休
開場時間： 12:00-18:00
会場： six factory 東京都目黒区八雲3-23-20
入場料： 一般500円、大学生200円（学生証提示）、高校生以下無料
Facebook： www.facebook.com/Yanagimoto.Koichi.Exhibition/
主催： 柳本浩市展実行委員会
協力： 株式会社 良品計画
キュレーション： 熊谷彰博
会場構成： 小林恭+マナ/設計事務所ima
メインビジュアル： 野口孝仁/Dynamite Brothers Syndicate
編集協力： 上條佳子、加藤孝司
企画協力： まほうの絵ふで、Glyph.
会場内グラフィック： 田部井美奈
PR： 小池美紀/HOW INC.

柳本浩市展 冊子
「YANAGIMOTO KOICHI - ARCHIVIST' S VISION」
アートディレクション：野口孝仁/Dynamite Brothers Syndicate
編集：土田貴宏、加藤孝司、熊谷彰博、塚田有那
予価：300円（税別/2000部限定）

オープニングイベント
4月29日（土）12:00～17:00（予定）

柳本浩市展実行委員会メンバー
中原慎一郎/有限会社 ランドスケーププロダクツ
佐藤達郎/株式会社 デルフォニクス
横川正紀/株式会社 ウェルカム
小林恭+マナ/設計事務所ima
郷古隆洋/Swimsuit Department
土田貴宏
熊谷彰博、ほか

柳本浩市 プロフィール



Photo : 加藤孝司

1969年山梨県生まれ。幼少のころ、植草甚一に影響を受けてジャズと古本に目覚め、小学1年生からアメリカ文化に没入し、古着や家具などの収集を開始。ただ収集するだけでなく収集物を独自の視点で再編集し社会背景と照らし合わせて再定義した。マーケティング、セールス・プロモーションなどに関わる会社員時代を経て、2002年にGlyph.を起業。自社の商品開発や出版事業からスタートし、後にKDDIのリテールサービス事業や代官山 蔦屋書店のアドバイザー、アサヒビールの東京オリンピック事業など大手企業の商品開発やブランド戦略アドバイザー、行政の地方創生事業などのプロジェクト・マネジメントに携わる。並行して多くの雑誌の特集監修や執筆なども行った。また飲み会「リアル中西」を主宰し、SNS時代における人的ネットワークの構築を実践した。著書に、社会とデザインの関係性を考察した『DESIGN=SOCIAL』(ワークス・コーポレーション)、新しいメディアの創出を提案した『共創がメディアを変える』(中村堂)などがある。

関連画像



ニューハート人形/マリリン・ニューハート作
(柳本浩市氏のコレクションより)



『Zwarte Beertjes』Glyph.著
(フリーライド)



『DESIGN=SOCIAL』柳本浩市著
(ワークス・コーポレーション)



無印良品 池袋西武 企画展「STOCK展」より
柳本浩市 自宅 Photo : Gottingham



無印良品 池袋西武 企画展「STOCK展」より
柳本浩市 自宅 Photo : Gottingham